

平成 30 年度 第 1 回港南区協働による地域づくり推進協議会 開催報告

【日 時】	平成 30 年 6 月 29 日（金）15:30 から 17:00 まで
【場 所】	港南区役所 5 階 地域協働ルーム
【出席者】	藤田会長、五十嵐副会長、木村副会長、若林委員代理、比留間委員、 穂永委員、加賀委員、谷本委員、高柳委員、塩田委員、守分委員、齊藤委員
【議 題】	平成 30 年度における各団体の取組について

【港南区協働による地域づくり推進協議会の概要】

区内の地域活動者や団体が、自治会町内会など身近な地域の中で連携できる関係を築き、地域での活動をより一層進めていくために、区内で活動する各団体の代表者と区役所と一緒に話し合い、情報を交換する場として、平成 26 年度から設置しています。

港南区連合町内会長連絡協議会（藤田会長：芹が谷）

● 「協働による地域づくり」を大切に継続した活動を

みなさまのおかげで「協働による地域づくり」という考え方が非常に浸透してきたので、もっと輪を広げていくことが私たちの役目であると考えます。障がい者理解について、昨年度に引き続き研修会を開催し、障がい者のことを知るということを第一にやるべきことだと思っています。また、地域包括ケアシステムの理解を進めるため、勉強会を計画しています。港南区制 50 周年に向けて連合と区社協が連携して継続した活動を行い、港南区制 50 周年のテーマである「愛あふれる♥ふるさと港南に」を実現していきます。



港南区民生委員児童委員協議会（五十嵐副会長：日野第一）

● 困りごとを抱えた方をみんなで支援することが必要

昨年度、民生委員制度は創設 100 周年、また、児童委員制度は創設 70 周年を迎え、今年度はさらに一歩進んだ活動をしていきたいと思っています。高齢化社会では、困りごとを抱えた方をみんなで支援していくことが必要です。地域協働に向けて、一人ひとりの民生委員がやりがいを持つことが大切で、活動が楽しくなければ継続して活動に参加できないと考えており、楽しい活動を心がけてやりがいを感じられるようにしたいと思っています。また、防災拠点ごとに民生委員が顔の見える関係を連合・区社協と連携して構築していきたいと思っています。



港南区社会福祉協議会（木村副会長：野庭住宅）

● 関係機関と顔の見える関係づくりを

3 年目を迎える港南ひまわりプランや、地域包括ケアシステムの構築に向けて、引き続き区民一人ひとりの福祉ニーズに基づいた仕組みを充実させます。自治会町内会やボランティア、福祉施設、民間企業など様々な団体と話し合う場をつくり、顔の見える関係をつくっていきます。特に、住民支えあいマップの取組を主とした身近な地域の「つながり・見守り・支えあい」活動や、あんしんセンター利用者の生活支援や市民後見人の育成支援を、重点項目として行います。

● 移動が難しい方の支援について

港南区の移動情報センターの運営やガイドボランティアについて多くの方に知ってもらいたいと考えています。そのためにも、事業所やボランティアの確保を進め、本格的に事業を始めます。



港南区地区社会福祉協議会分科会（若林委員代理：永谷）

● コーディネーター役としてつながりを形成

「つながり」をテーマに活動します。地区社協とは何かという基本に立ち返り、自分を知って、他人に知ってもらい、つなげていくという流れができるように活動をしていきたいと思っています。地区社協では、連合に加入していない自治会町内会や、自治会町内会に加入していない方とのつながりの希薄さを課題としています。連合や自治会町内会に加入することのメリットを感じ、興味を持ってもらうために自分を知り、他人に知ってもらうという流れが重要です。今年度は、このように基本に戻った考え方に基づいて活動を行います。



港南区保健活動推進委員会（比留間委員：野庭団地）

● 特定検診・がん検診の受診率向上

横浜市保健活動推進委員会のテーマは地域の健康づくり、重点取組に特定健診・がん検診の普及啓発を掲げています。横浜市の特定健診・がん検診の受診率が非常に低く、港南区が18区の中で一番高い数値ですが、それでも22%程度の受診率になっています。検診を無料化するなど受診率を高める取組を始めました。



● やってみよう！健康アクションこうなん5

港南区では「健康アクションこうなん5」が今年で3年目となります。もっと「健康アクションこうなん5」を広めていこうということで、『健康アクション』の前に『やってみよう！』というフレーズをつけ、「やってみよう！健康アクションこうなん5」としました。これが港南区保健活動推進委員会の今年度の活動テーマです。保健活動推進委員会の活動については、各地域で例年通りやっていることを継続して着実にやっていきます。横浜市保健活動推進委員会は、今年度70周年を迎えることができました。記念誌発行や式典など、70周年にまつわる取組も行っています。

● 港南ふれあいウォーキング

スポーツ推進委員、青少年指導員、食生活等改善推進委員会、シルバークラブ連合会、障害者団体連絡会、保健活動推進委員会が協力して開催している港南区ふれあいウォーキングに関して、今年度は保健活動推進委員会が委員長を務めることになりました。11月18日（日）の午前中にウォーキングを実施しますので、ぜひ多くの方にご参加いただきたいと思います。

港南区青少年指導員協議会（穂永委員：日野第一）

● 子どもを巻き込んだ活動を進める

中学生の生活環境を知るために、中学校の生徒指導の先生と交流会の開催や、全市一斉にカラオケやコンビニなど生徒がよく訪れる場所の調査を実施します。またイベントとしては、こうなん子どもゆめワールドや、中学生ボランティアを募ってのウォーキングイベントなど子どもを巻き込んだ活動を行っています。各団体との関連行事として青少年健全育成を推進する会との事業や、ひまわり交流協会の事業にも参加しています。



● 地区のイベントをサポートしていきたい

青少年指導員協議会は、15地区の情報交換の場、あるいはスキルアップや研修の場や、各地区にいる指導員の活動の啓発の場としています。各地区でのイベントや事業を通じて、青少年指導員の役割が増えてきました。現実的な視点も含めながら、全体での活動の見直し、また、各地区での活動のサポート役に回るような活動をしていきます。

港南区消費生活推進員の会（加賀委員：永谷）

● 悪質商法被害防止の取り組み

各地区の推進員は2年目になり、地域において紙芝居、DVD 上映などで啓発活動を活発に行っていますが、まだ被害は減る事がなくむしろ増えています。未成年者の顔の見えない SNS 等でのやりとりや、ネット販売も含め年齢を問わず注意が必要です。このようなことを意識した啓発活動も大事だと思います。



● 日野中央高等特別支援学校の生徒との交流

日野中央高等特別支援学校の子どもたちがどのような学校生活を送っているか見学と作業学習を希望者で体験してきました。学校は地域の協力を得て、社会性を養うために引き続き地域の方々に参加を希望されていましたので、子どもたちの成長につながればとボランティアとして何名かが継続することになりました。

港南区スポーツ推進委員連絡協議会（谷本委員：港南台）

● 港南区健康ランニング大会

2019 年 1 月に開催する港南区健康ランニング大会ですが、こちらは来年港南区が区制 50 周年を迎えるため、記念大会でもありますし、またこの健康ランニング大会自体も開催 40 回を迎える記念の大会になります。この記念となる大会を連合町内会等と協働で進めたいと思います。



● ラジオ体操の普及に向けて

神奈川県の小学生在が全国で一番体力がないという結果から、4～5年前から県の教育委員会では小学校でラジオ体操をすることを推奨しています。ここ4年間参加人数が増えており、スポーツ推進委員もラジオ体操の講習に力を入れています。近くでラジオ体操を行っている場合にはスポーツ推進委員に声をかけていただければ、ラジオ体操の指導に伺います。遠慮なくお声がけください。その他、夏祭りやグランドゴルフ大会など様々な行事を行っていますので、これからもご協力をよろしくお願いいたします。

港南区環境事業推進委員連絡協議会（高柳委員：日野第一）

● 食品ロスの削減に向けて

手つかずのまま捨てられてしまう食品をなくそう、賞味期限や消費期限をしっかりチェックしよう、食べ残しをなくそうといった食品ロスの削減を訴えております。食べ残しをなくすために、4月現在、18軒のお店で食べ残しの持ち帰りの対応をしています。このお店をどんどん増やしていこうとしています。こういった食品に関する事業について、神奈川県は他県に比べてまだまだ不足するものがありますので、機会のあるごとに訴えていこうと思います。



港南区シルバークラブ連合会（塩田委員：野庭団地）

● 新しい仲間づくり

昨年、港南区のシルバークラブ連合に加入した新しい会員は562人でした。この562人を大事にしていきたいと考えています。高齢者の人口が増える中で、シルバークラブ連合の組織をどのように作っていくか、みんなで話し合いながらやっていきます。そして、みんなで手をつないで支え合い、孤独にならないように取り組んでいきます。こういったことを目標に今年も新しい仲間づくりに励んでいきたいと考えています。



● 世代間交流盆踊り大会

シルバークラブ連合では様々な行事を進めていますが、今一番大きな行事は世代間交流盆踊り大会（8月28日ふれあい公園にて開催予定）です。実行委員会を設定して開催に向けて進めていっています。

港南区食生活等改善推進委員会（ヘルスマイト）（守分委員：永野）

● 高齢者の健康づくりに向けて

昨年、高齢者の低栄養予防と、やさしい在宅介護食について重点的に取り組んでいます。定例会では会員のスキルアップの意味も含め、講師の方をお招きし研修会を設けています。高齢者が低栄養にならないよう、食の偏りがいないか確認する「10 食品群チェックシート」を印刷することが出来ました。このシートを活動の中で使って啓発を行っています。日頃色々な食品をまんべんなく食べて低栄養予防につなげていただきたいと思います。私たちも協働の一員としてつながりを持ち、講習・実習の機会を無駄にせず得た知識を地域の皆様に発信しようと考えています。



港南区役所（齊藤委員：港南区長）

● 港南区制 50 周年

港南区制 50 周年事業については、単にお祝いのイベントではなく、地域で行っている様々な活動や、活動している方の輪を広げるような場にしたいと考えています。それぞれの団体で楽しいことを考えていただいて、つながるきっかけになればいいなと思います。



● 地域包括ケアシステム

港南ひまわりプランを各地域で進めていただいたことで、関わっている方の中では「港南ひまわりプランって何？」という質問はなくなりました。今では、「地域包括ケアシステムって何？」という質問が多くなっています。地域で活動している方々が、話し合っつながることが地域包括ケアシステムを進めているということをご理解いただけるといいなと思います。みんながつながる活動をして地域の中で暮らしやすくする、これが地域包括ケアにつながっています。このことを実感していただけるように、ケアプラザや関係するみなさんと区役所とで話ができるような仕掛けを考えています。

● 見守り支えあい

地域の日常적인見守り支えあいをイメージしてもらえるリーフレットを、区役所の課を超えて作成しました。内輪話としては、これをきっかけに区役所の縦割りをなくし、区民のみなさまにトータル的な話がどこの課でもできるようになれば良いなと思っています。

まとめ（藤田会長：芹が谷）

地域包括ケアシステムについて、わかりやすい文言になると理解が深まると思います。つながりという言葉が入ると良いですね。みなさまが理解して協力していかなければいけないので、わかりやすいようになることは大切だと思います。これから行われるイベントを区制 50 周年に絡めた形でできな
いか、みなさまでご検討をお願いいたします。みなさまと「協働による地域づくり」を進めていきたい
と思いますので、よろしくお願いいたします。

